

人権教育指導者専門研修

- 1 目 的 人権尊重の精神の涵養を図るため、指導者としての資質・能力の向上を目指すとともに、教育・啓発を効果的に進めるための方策について研修する。また、生涯学習の観点に立ち、学校教育と社会教育の連携と相互理解を図りながら今後の人権教育の一層の推進を目指す。
- 2 主 管 総合教育センター研修部(Tel 0 2 8 - 6 6 5 - 7 2 0 2)
- 3 校 種 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校
- 4 対 象 人権教育主任等 (24 人)。ただし、平成 2 4 年度までに同和教育研修、人権教育研修、人権教育指導者専門研修のいずれかを受講した方は受講できません。
- *割当ての学校以外で希望する方は、生涯学習研修の「人権教育指導者専門研修」をご覧ください。
(実施日、研修内容は同じです)

	河 内	上都賀	芳 賀	下都賀	塩谷南那須	那 須	安 足	小計	合計
小 学 校					1	1	1	3	24
中 学 校	1	1	1	1				4	
高等学校 特別支援学校 県立中学校	宇中女高、宇商高、鹿商工高、小南高、小城南高、学悠館高、 翔南高、佐東高、清風高、真高、黒羽高、拓陽高、さくら高、 のざわ特校、わかくさ特校、南那須特校、宇東附中							17	

5 時 間 9 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0 (受付 9 : 0 0 ~ 9 : 3 0)

6 研修内容等

区分	実施日	研 修 内 容	講師・助言者等／会場
第 1 日	6/17 (月)	開講式 講話 「本県の人権教育の在り方」 講話 「人権教育の視点」 事例発表 「集会所における事業の推進と課題」 研究協議 「人権教育を推進するために」 ※持参物 「人権教育推進の手引」 (平成 2 5 年 4 月 栃木県教育委員会)」	大学職員等 総務課職員 市町教育委員会職員 総合教育センター職員 会場：総合教育センター
第 2 日	A 6 月 B 7 月	現地研修 「同和問題を考える」 視察 講話・体験発表 「差別解消への道」 情報交換 「差別解消に向けて」 * A・B どちらか選択になります。	団体職員 総務課職員 教育事務所職員 総合教育センター職員 会場：市町
第 3 日	7/22 (月)	説明 「参加体験型学習について」 演習 「参加体験型学習から学ぶ人権教育～ワークショップのススメ～」 演習 「ファシリテーターを体験しよう」	生涯学習課職員 総合教育センター職員 会場：総合教育センター

第 4 日	8月 上旬	現地研修 「人権意識を高めよう～施設の見学をとおして～」	施設職員 総合教育センター職員 ----- 会場：各施設
第 5 日	8/26 (月)	講話 「プログラム・指導案立案のポイント」 演習 「多様な学習方法を取り入れた人権学習を企画しよう①～指導案をつくろう～」	生涯学習課職員 総合教育センター職員 ----- 会場：総合教育センター
第 6 日	9/10 (火)	演習 「多様な学習方法を取り入れた人権学習を企画しよう②～指導案の発表・講評～」 講話 「共に生きる社会づくり」 閉講式	大学等職員 教育事務所職員 総合教育センター職員 ----- 会場：総合教育センター

付 記 ・講師、第2日・第4日の日程等が決定しましたら、とちぎレインボーネット（総合教育センター生涯学習部ホームページ）に掲載いたします。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/information/index.asp>